

標準的な時間割例

1年次前期

■ 外国語科目 ■ 研究科目 ■ 基盤教育科目 ■ 教育科目

英語初級者 (Basic English)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	09:00~10:30 日本語 プレゼンテーション	日本語 特別演習	国際コミュニケーション 入門	日本語 プレゼンテーション		
2	10:40~12:10	日本語 チュートリアルI	国際 関係史I	日本語 総合講座	Guided Independent Study I	
昼休み						
3	13:10~14:40 Basic English I				Basic English I	
4	14:50~16:20 日本 経済論I		Basic English I	Basic English I	基礎演習I	
5	16:30~18:00					

英語中級者

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	09:00~10:30 EIC I	日本語 特別演習	国際コミュニケーション 入門			
2	10:40~12:10	日本語 チュートリアルI	EIC I	基礎演習I		
昼休み						
3	13:10~14:40 Reading/ Writing I			EIC I	日中関係論I	
4	14:50~16:20 日本語 ディベート	Reading/ Writing I	Reading/ Writing I		Reading/ Writing I	
5	16:30~18:00 日本語 ディベート				EIC I	

英語初中級者 (Intermediate English)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	09:00~10:30	日本語 特別演習	国際コミュニケーション 入門			
2	10:40~12:10 Academic Writing I	日本語 チュートリアルI	Intermediate English I	日本語 総合講座	Guided Independent Study I	
昼休み						
3	13:10~14:40 コミュニケーション論I	民族と文化I		Intermediate English I	経済学I	
4	14:50~16:20		Academic Writing I		基礎演習I	
5	16:30~18:00 国際 機構論I					



授業紹介 (抜粋) ※授業の内容は変更となる場合もあります。

* 留学生のみの特別クラス

外国語科目 (日本語)

日本語総合講座*、日本語特別演習*、日本語チュートリアル*

大学で勉強するためには、学習技術 (読解、要約、批評、資料調査・整理、レポート作成、口頭表現、コンピュータ) を活用し、自分の頭で考え、自分の言葉で表現することが必要になります。これらの力を養成することをめざし、留学生対象日本語科目として、日本語総合講座、日本語特別演習、日本語チュートリアルが用意されています。

外国語科目 (英語)

Basic English*、Intermediate English*

まったく英語を学んだことのない人から数年の学習歴がある人まで、習熟度別に3種の授業が用意されています。「聞く・話す・読む・書く」の4つの技能をバランス良く伸ばしながら、卒業時までには、実社会ですぐに役立つ実用的な中級程度の英語運用能力を身につけることをめざします。クラスはいずれも10数名程度の少人数です。レベルが上がるにつれ、ディスカッションやプレゼンテーションなどが多く取り入れられます。

外国語科目 (英語)

English for International Communication (EIC)

英語の総合的な運用能力を高める科目です。旅行、音楽、海外生活、映画などの身近なテーマをとりあげ、英語での調査や口頭発表を通して、実践的な英語力の向上を図ります。

研究科目 (一部紹介)

異文化コミュニケーション論

異文化コミュニケーションが自分探しの旅であるという出発点から、自分の文化・他の文化、そして世界との関わりを考え、アイデンティティの問題・異文化インタラクション・グローバル化とポストモダン社会における文化と人間について考えます。さまざまな文化・コミュニケーション現象についての基礎理論を学び、批判的に分析することをねらいとしています。そのため受講者には、積極的にクラス活動に参加することが求められます。

日本語プレゼンテーション

「情報を伝えること」と「説得すること」は、公の場におけるコミュニケーションの2つの大きな目的です。大学及び社会生活において、これらのコミュニケーションの場に立つ機会は頻繁にあります。本科目は、そのような状況でメッセージを効果的に伝え、説得力のあるプレゼンテーション (内容、話し方) を行うために必要なコミュニケーション理論を学び、プレゼンテーション活動 (準備と発表) を通じてそれらを実践することにより、実社会で求められるコミュニケーション能力の育成をめざします。

国際経営論

経営のグローバル化という文脈の中で、経営学の基礎と経営の実践を学びます。環境のマネジメント、国際化の戦略、組織のマネジメント、国際経営と新しいビジネス・モデル、経営の国際化と日本企業の課題、経営とセキュリティなどを主要テーマとします。

日本経済論

戦後の復興から「日本の奇跡」と言われた高度経済成長を経て米国と並ぶ経済大国となった日本は、現在多くの困難に直面しています。これら問題の中にはバブル崩壊後の金融不安、低成長と就職難、非正規社員増加と経済格差拡大、高齢化の急速な進行と年金問題など、私たちの現在・将来の生活に直接かかわるものも多くあります。本講義では、戦後の成長と景気循環を時代を追いつながり概観し、日本経済の現状と課題を長期的・国際的な視野で位置付けるとともに、景気循環や中長期的な経済の動きについての基本的な見方を学びます。

日本社会論

現在、日本社会に起きている諸現象は「バブル崩壊後…」という言葉で説明されることが多く、バブルで日本社会は大きく変わったのです。バブルとは何だったのでしょうか。バブルを通じて、日本社会の変容を論じます。

日本近代史

幕末の開国から太平洋戦争敗戦にいたるまで、日本近代化の大きな流れを理解。さらには、近隣のアジア諸国の近代史に大きな影響をあたえてきた日本の役割を、政治的背景と異文化間の相互作用を中心に学んでいきます。

日本語学

音声はどのようにして発せられるのか、どのような音を私たちは用いているのか、そしてその音が言語の中でどのように位置づけられるのか、さらに日本語の音に関する概説をします。

国際関係論

アジア、中東、アメリカ大陸、ヨーロッパ、アフリカなど、世界で起きている毎日のニュースを読み解き、政治、経済、外交、環境、資源、人口など、現代社会を多面的にとらえる視点を身につけることを目標とし、毎日の国際ニュースを他人事ではなく自分の事として関心を持てるようにします。

